

会議録

- 1 附属機関の会議の名称 令和2年度第1回水戸市少年自然の家運営委員会（書面開催）
※ 新型コロナウイルスの感染防止を図るため、書面開催とした。
- 2 開催日時
令和3年2月26日（金）から令和3年3月7日（日）（意見聴取期間）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 出席した者の氏名（※委員については、意見書の提出をもって出席とみなす。）
 - (1) 委員 鈴木 睦，穂積 弘行，長谷川 聡，安島 可子，澤田 幸宏，
田山 きよ子，西野 由希子，松橋 義樹，根本 栄寿，下出 恒平
 - (2) 執行機関 野澤 昌永，森田 信行，飯田 真弓，伊藤 佑太
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 令和2年度利用状況についての意見聴取（公開）
 - (2) 令和2年度主催事業についての意見聴取（公開）
 - (3) 令和3年度運営方針（案）についての意見聴取（公開）
 - (4) 令和3年度主催事業（案）についての意見聴取（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人（書面開催により）
- 8 会議資料の名称
 - ・ 令和2年度第1回少年自然の家運営委員会資料
- 9 発言の内容
書面により意見を聴取した。以下概要。
 - (1) 令和2年度利用について
 - 【委員】
新型コロナウイルス感染症予防対策のためさまざまな事業が中止や縮小になる中、少ない中でも利用があったこととそれに対応していただいたことに感謝します。
 - 【委員】
「ア 滞在日数別利用状況について」では、1日の利用者数が前年度同期より増えており、新型コロナウイルス禍の中ではあるものの、利用者の実情に適切に対応している結果だと感じました。また、前年度の3泊4日以上が500人という人数や、「エ 過去

6年間の年度別利用状況について」の平成29年度からの向上は、少年自然の家の利用促進方策等の成果であると思われました。

(2) 令和2年度主催事業について

【委員】

このような状況の中での事業展開の御苦勞が想像できます。

【委員】

活動の特性や感染症予防等を踏まえて「実施」や「中止」の判断をしてきたことが伝わってきました。今年度のような状況の中でも各事業募集人数を大きく上回る応募総数を見ると魅力ある事業を展開していることが分かりました。

【委員】

新型コロナウイルス禍の中でできるものを工夫して行ってくれていました。

(3) 令和3年度運営方針（案）について

【委員】

子供たちが自然に親しむ場の拠点としての機能の充実を期待します。

【委員】

新型コロナウイルスの状況の中で工夫して行ってほしい。

【委員】

新型コロナウイルス対策はどのように想定されているのか。

【事務局】

1都3県が緊急事態を解除すれば感染者は増え、隣接する茨城県も感染者が増えると予想しています。また、16歳以上にワクチンが接種されるまでには半年かかるとこともあり、令和3年度の状況は、今年度と同じと考えております。当施設としましては、今年度の感染対策の見直しを図りながら、新たな対応策を積極的に行います。

(4) 令和3年度主催事業（案）について

【委員】

利用者が安全に楽しめる事業の実施をお願いします。

【委員】

令和2年度の主催事業を踏まえ、募集人数を大きく上回る募集総数が予想されるものは、難しい面もあるとは思いますが、できるだけ希望に応えられればと思います。

【事務局】

新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、利用者の健康と安全・安心を十分確保できる範囲で事業を展開していきます。

【委員】

新型コロナウイルス対策として具体的にどのような対応を予定しているのか。また、事業を延期または中止とせざるを得ない場合、代替の事業などは予定しているのか。

【事務局】

令和3年度のコロナウイルス対策は、令和2年度と同様に、人数削減や、検温、消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンス、屋外活動の推奨、換気などを行い、利用

者の健康と安全・安心を第一に考え、最善の対応に努めます。また、延期や中止になった場合の代替事業については、既に年間事業が組まれており、日程調整が困難なため予定していません。

(その他)

【委員】

自然体験や集団生活など少年自然の家でなくてはできない活動に期待しています。新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながらの活動は大変かと思いますが、よろしく願いいたします。

【委員】

本校も利用させていただきました。雨の中の飯ごう炊さんでは、所長さんをはじめ、所員や指導員のかたがたに大変お世話になりました。その後の活動でもさまざまな配慮をしていただきありがとうございました。温かい雰囲気、快適な施設、本校児童や教職員は次は是非とも宿泊してみたいという気持ちで帰校しました。加えて、児童生徒や学校の実態を踏まえて適切な指導・支援・助言をしていただける、私たち教職員の先輩がたがいてくださることも心強い限りです。